

令和 7 年 湖西市議会 6 月定例会

市 長 あ い さ つ

令和 7 年 6 月 6 日

おはようございます。

本日より開催されます令和7年6月湖西市議会定例会にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。昨年12月に湖西市長に就任して以来、早くも半年が経過いたしました。「魅力ある湖西市をこどもたちへ」を市政運営の基本に据え、「次世代へつなぐ挑戦」に積極的に取り組んでおります。

（はじめに）

皆様のご承知のとおり、今年4月、アメリカのトランプ大統領は「相互関税」政策を発表し、日本のみならず世界各国に新たな関税措置を課すこととなりました。

本市は、製造業が盛んな地域であり、特に自動車部品関連の事業所が多く、これらの製品はアメリカ市場にも広く輸出されており、影響を懸念しています。私は、こうした情勢を重大な課題と認識し、国の交渉結果を注視しながら、地域企業が抱える問題に対して迅速かつ的確な情報提供や支援を実施したいと考えております。また、業績の低下に伴う市の税収減少による財政への影響も看過できず、地域経済の安定と持続可能なまちづくりを維持するためにも、市としての責任を全うし、着実かつ効果的な対策に努めてまいります。

（トップセールス）

就任直後から、私は県議時代に培った人脈を活かし、トップセールスとして本市への産業誘致やさまざまな分野での発展に向けて、関係者との意見交換を進めております。話し合いの進展に応じて、議員の皆様にもご報告させていただきたいと考えております。

また、この4月からは、市内の住宅用地の確保についても、制度の広報活動に注力してまいりました。

まずは、市街化区域内の未利用地の活用が重要でありますので、令和3年10月から、市街化区域内のうち、特に居住誘導区域内で住宅用地としての活用を促進するため、事業者や土地提供者に奨励金を支給する制度を開始し、これまでに40区画が分譲販売されております。

また、令和6年10月からは、市街化区域内に新たに賃貸住宅などを建設して所有者となる法人や個人への奨励金制度も開始しております。

一方、人口減少により空き地空き家が散見される市街化調整区域に位置する大規模な既存集落については、居住を促進することにより地域コミュニティの維持・向上を図ることを目的として、この4月から市内の2地区、「大知波地区」と「白須賀地区」で優良田園住宅制度が活用できるように市の基本方針を定めました。この制度は、一定の条件を満たした計画の認定を受けることで、地域の出身者等に限らず、どなたでも戸建住宅の建築が可能となるものです。

今後は、こうした様々な制度の活用が図られ宅地の供給が進むことを期待しており、主に不動産事業者や住宅メーカーの皆様が主体となって取り組んでいただけるよう、周知活動に引き続き努めてまいります。

（令和7年度の事業等について）

令和7年度の施政方針でお伝えしたとおり、今後の施策は「暮らしやすさの向上」と「元気なまちの実現」という二つの柱を軸に、持続可能なまちづくりの取組を一層推進してまいります。

本年度もすでに2か月が経過しましたが、持続可能な湖西市の発展に向けて、新たに開始した事業や今後予定している事業について、いくつかご説明いたします。

【暮らしやすさの向上】

まず、「暮らしやすさの向上」に向けた取り組みとして、「公共交通」と「にこりん」の近況」の2つを紹介させていただきます。

（公共交通）

公共交通に関する取組は、私の公約の中でも優先度が高い項目であり、早急に見直しを進めております。特に、デマンド型乗合タクシーである「コーちゃんタクシー」については、令和6年度から市内全域にサービスを拡大しており、令和6年度の利用実績は8,439人で前年比144%増加しました。その中でも鷺津地区での利用者が増加しており、こうした実績を受け、運行事業者と連携し、市民がさらに便利に公共交通サービスを利用できる環境の構築を目指し、次の5つの項目について検討を進めております。

- ① 休日運行の実施
- ② 乗り降りできる場所となる指定施設の増加
- ③ 便数の拡大
- ④ 運行時間の拡大
- ⑤ 指定施設と指定施設との間での移動

これらの項目について、地域住民（自治会長）向けのワークショップを5月28日と6月4日の2回開催し、市民のご意見を集約したところです。

今後は、こうした市民のご意見も踏まえまして、10月からの利便性向上に向けた実証運行の準備を進めてまいります。

（「にこりん」の近況）

続いて、一昨年に閉園した新所幼稚園の跡地に、市内で2カ所目となる子育て支援センター「にこりん」が、1月にオープンし、まもなく半年が経過しようとしております。

「にこりん」では、遊びの広場の提供、リトミックなどの講座の開催、週2回の子ど

もの一時預かりなどの親子向けの支援に加えて、発達相談、2歳児親子や1歳児親子を対象にした子育て教室などの発達支援を常駐の専門職員が行っております。5月末までの利用者数は、4,000人を超え、利用者からは、「家の近くにできて嬉しい」、「体を動かす遊具があって楽しい」、「さまざまな玩具があり、子どもの好みや遊び方が分かる」などのご意見を頂いており、地域の皆さまに親しまれた施設として定着がみられます。

また、今年4月には新たに西部地区においても、民間委託により子育て支援センター「ほほえみ」が開設され、市内には3箇所の子育て支援センターが整いました。これらの取り組みは、地域の子育て家庭への支援をさらに充実させ、子どもの健やかな成長を支える基盤となっております。今後も引き続き、子育て支援サービスの充実に努め、地域の皆様が安心して子育てに取り組める環境づくりを進めてまいります。

【元気なまちの実現】

もう一つの「元気なまちの実現」は、「商工会の合併調印と夜間相談、賑わい創出」についての取り組みを紹介させていただきます。

（商工会の合併調印と夜間相談、賑わい創出）

この3月には、湖西市と新居町の両商工会の合併に関する基本協定締結式が市役所で執り行われました。私も立会人として同席したところではありますが、6月には合併協議会が設立され協議が進むようでございますので、引き続き見守ってまいりたいと考えています。また、この6月からは、市と湖西市・新居町の両商工会の連携事業として「夜間創業相談」がはじまります。この相談会は、月1回、市の職員による補助金相談と商工会職員による経営相談などを実施するとともに、専門家による創業相談を予約制で実施するものです。

さらに、駅前の賑わい創出のため、「わしづ駅前ちょこっと夜市（よいち）」を7月末から実施すべく出店者を募集中です。鷺津駅前に屋台やキッチンカーを出店し、市街地の活性化に繋げてまいります。

市としましては、このような両商工会による共同事業の提案など、元気なまちの実現に向けて連携してまいりたいと考えています。

【持続可能なまちづくりのための取組】

さらに、持続可能なまちづくりの取組としましては「DXの推進」について紹介させていただきます。

（書かない市役所 稼働）

この3月下旬からは、市役所に来庁される方々の利便性向上に向け、DXを活用した「書かない窓口」の業務改善の一環として窓口支援システムを利用した証明書の発行業務がはじまりました。対象は、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明、所得証明などの税に関する証明書です。

これまで証明書の交付申請書には申請者が、住所や氏名、生年月日などを記入する必要がありましたが、この業務改善により職員が手続きに必要な情報をお聞きし、システムを利用して申請書の作成を支援します。申請者は申請内容を確認し署名するだけで手続きが完了するため記入ミスの心配がなく、迅速かつスムーズに証明書を受け取ることができるようになりました。また、サービス開始にあわせて、市役所1階東側フロアの窓口レイアウトも改善し、より快適な環境を整えました。

サービス開始から3か月が経過した現状を申し上げますと、市民の皆様からは「書く手間がなくなり楽になった」といったお声を多くいただいております。一方、職員からは、「手書きの申請書では読みづらい文字や判読が難しい部分があり、処理に時間を要していたが、窓口システムによって申請内容が活字で印字されるため、チェック作業が非常にスムーズになった」との評価を受けております。

このように、市民の皆様の負担軽減と申請手続きの効率化を実現し、サービス向上といった点で良い結果をもたらす取り組みであったと評価しております。

令和7年度末までには、転入や転出等の異動手続きにも「書かない窓口」のサービスを開始できるように準備を進めております。このサービスにより、申請者の「住民異動届け出書」への記入の手間が軽減されるだけでなく、住民異動に関連して必要な各課への手続きが申請者に案内されるため、申請漏れの防止が期待できます。加えて、関連手続きの申請書も自動作成されることで、複数の申請書へ住所、氏名などを何回も記入する必要がなくなり、申請者の負担が一層軽減される見込みです。今後とも、業務改善を進め、市民の利便性向上と事務の効率化に取り組んでまいります。

(結び)

結びに、昨年12月25日にご逝去されました、スズキ株式会社 相談役 故・鈴木 修さまについて一言申し上げます。私は、県議時代を通じて鈴木修相談役には、大変お世話になりました。相談役については様々なエピソードが残されています。カーストの問題があるインドにおいて、現場のブルーカラーの職員と同じ食堂で食事をとることに対し、幹部には抵抗があった中、相談役が食堂に行って従業員と一緒に並んで順番をまっていたというエピソードは相談役の人柄を表しています。私も相談役を見習い、人を愛し、現場主義を徹底して仕事に取り組むとともに、忙しくて死ぬ暇がないと言えるくらい一生懸命仕事にまい進してまいりますので、議員の皆様には引き続きのご指導よろしくお願いいたします。

さて、本定例会に提案させていただきます案件は、補正予算など合計9件です。本議会におかれましても、引き続き、建設的かつ前向きなご提案やご議論をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以 上